

だいたう 議会報告

介護保険境界層措置について

介護保険料は、65歳になれば、ひと月当たり15,000以上の年金者からは天引きされ、無年金の方からも容赦なく徴収されます。

境界層該当者(*)が、

介護保険料や利用料のランクを下げて定額にすることによって、生活保護に該当しなくなることが証明されれば、介護保険料や利用料が軽減される制度です。

つまり、介護保険料や利用料を支払うと生活保護水準以下となり、生活保護の該当者となる場合の方を対象としています。

*境界層該当者とは、介護保険料や介護サービスの利用料を支払うと、その分生活費が足りなくなり、生活保護が必要になる人です。



手続きの方法は、福祉の窓口で生活保護申請が却下されたときに発行される「境界層該当証明書」で介護保険課に申請します。

この制度は、生活保護受給者を減らすために作られた制度ですが、介護保険料を滞納したために利用料が2割とされた人は解除されます。

複数の窓口にまたがる制度ですので、詳しいことはお近くの市会議員団にお尋ねください。

「だいたう議会報告」では、意外と知られていない制度などを、引き続きお知らせしていきます。リクエストもお待ちしています。

熱中症対策、してますか？

熱中症は、直接太陽に当たっているときばかりが危険ではありません。体温調節が上手く機能しない乳幼児や高齢者、病気の人などは特に注意が必要です。

湿度や熱気のこもった中に長時間いると、汗をかいても気化熱をあまり奪ってくれない、さらに汗をかき続けて水分や塩分などのミネラルが不足して、脳などの血流不足から機能低下を起こしてしまっています。

対策をしっかりと！

対策としてはこまめな水分補給が基本です。さらにビタミン・ミネラルなども同時に摂取できればいいでしょう。ただし、極端に冷えた飲み物は夏ばての元、胃に優しい温度にも気をつけてください。

大坂民医連が熱中症調査をしています。要請があった場合はご協力をお願いします。

七月二十六日(日)午後一時から、市立体育館においてニュースポーツフェスティバルが行われました。第一部の市長・市議会議長挨拶、来賓紹介に引き続き、第二部では「フロアホッケー」のデモンストラクションと体験が行われ、さらに続いてニュースポーツの競技大会や様々な種目の体験が行われました。



ニュースポーツフェスティバル開催

七月二十六日(日)午後

一時から、市立体育館においてニュースポーツフェスティバルが行われました。

第一部の市長・市議会議

長挨拶、来賓紹介に引き続

き、第二部では「フロア

ホッケー」のデモンスト

レーションと体験が行わ

れ、さらに続いてニュー

スポーツの競技大会や様々

な種目の体験が行われまし

た。

フロアホッケーは氷上で行うアイスホッケーに似ていますが、障害の有無やゼネレーションギャップをフリーにした、独自に考え出されたゲームだそうです。



アイスホッケーでは硬いアイスパックや「ステイク」を使いますが、パックが体にあたったり、「ステイク」を振り回してけがをさせる場面も危惧されるために、フェルトを重ねた直径20センチ、厚さ3センチ程度の、穴開きドーナツ型のパックを考案し、ステイクも棒状のものに、もちろん振り上げて使うことは反則です。しかし、パッドを足でとめたり、そのまま蹴っても反則ではありません。

キーパーの守るゴール



市議員 ことぶき 勉 (つとむ けん)



市議員 とよあし 勝子 (つよあし かつこ)



市議員 とびた 茂 (とびた しげる)

法律相談

9月2日(水)7時~
大東市民会館
※先着順です
871-5588まで

「運動はしたいけれど、激しいものはちょっと...」とお考えの方にもお勧めです。



第48回大東市こども会

ソフトボール選手権大会開催

七月二十六日(日)
 ◎年目を迎えるこども会のソフトボール選手権大会が開催されました。
 前日の雨で開催が危ぶまれていましたが、急遽会場を緑風冠高校から深野北小学校へ移動して行われたものです。
 当日は、心配されていた雨も上がり、ユニフォーム姿で早めに来場した選手たちが、式典までのわずかな時間を惜しんで練習する姿も見られました。
 このあとのリーグ戦予選は行われたものの、八月二日、九日と、雨に見舞われてしまいました。決勝戦は九月二十三日(祝)に延期されました。モチベーションをいかに保つかも重要になってきました。



写真は上から反時計回りに、選手宣誓の様子と、優勝旗返還での昨年の覇者、津の辺こども会(男子)、こども会諸福(女子)です。

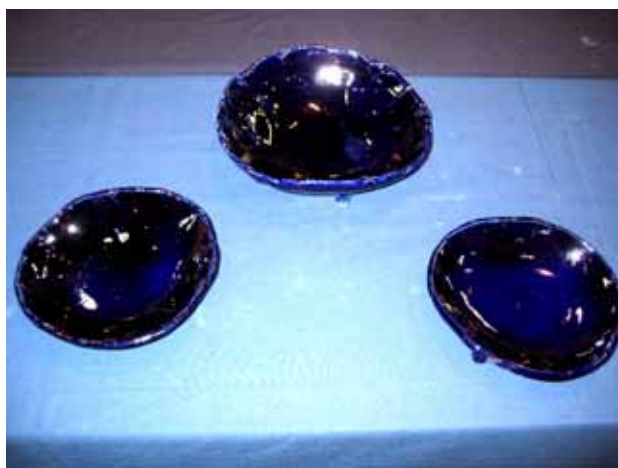
昔の知恵を活かして地球温暖化ストップ!



8月6日午後3時より、野崎参道商店街で「打ち水」が行われました。一日で一番暑い時間帯に水をまくことで、ヒートアイランドと化したアスファルトの町並みを、少しでもクールダウン出来れば、エアコンなどの電力消費量が減り、CO2の削減につながり、地球温暖化ガスの抑

制に繋がります。
 イベントには沢山のバケツと柄杓が準備され、開始の合図と共に参加者が一斉に水まき。さらに気温の変化を知らせるアナウンスに拍手をしていました。夏の「打ち水」は季節を感じさせる風物詩でもありましたが、もう一度見直してみるのもいいのではないのでしょうか。

今年も平和美術同好会展



豊芦勝子議員の作品(皿3点)



加藤みつこさん(作品の前で)

7月25〜27日、市内の美術愛好家で組織されている同好会の展示会「平美展」がサーティホールの展示室で開催され、案内状をいただいたので観てきました。同好会員の絵画や書のほか、おなじみの加藤みつこさんの「切り絵」や阪本富夫さんの陶芸作品が並べられ、異色なところでは豊芦勝子議員の陶芸作品(皿)などが展示されていました。

巡回バス(西部方面コース)の運行でまちづくり委員会協議会

7月30日、まちづくり委員会協議会が開催され、巡回バスの西部方面コースの停留所位置(案)が示されました。
 7月7日の両常任委員会の合同報告会に一旦、示されましたが、異論が出されたため、改めて開催されたものです。担当の交通対策課は「停留所のうち、西部図書館前など4箇所は地元同意が得られず、片側しか停留所が確保できていない。だが10月1日の運行開始にむけた国土交通省の認可申請の期限があるので、とりあえず、これでききたい」と説明。
 しかし各委員から「それでは利用者が当惑するだけだ。限られた時間ではあるが、何とか改善できないか」など注文が出されていました。古崎議員も欠陥停留所問題を一刻も早く解決するよう求めるとともに、「せつかく運行するのだから、多くの方に利用してもらうため、乗降客だけでなく運行地域の住民からもアンケート調査すべき。その上で改善すべきは改善するよう」と指摘しました。